社会福祉法人　富合福祉会

令和2年度　事業報告書

**はじめに**

　日本は2008年から人口減少社会となり、急速な高齢化が進んでおります。熊本県内においても全国より約10年早く人口減少の局面にあり、国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、2040年には約3人に1人が65歳以上の高齢者となる見込みです。

新型コロナウィルス感染症の最初の患者が中国武漢で確認されてから約1年以上が経過して以降、感染は全世界に広がりパンデミックとなり、多くの国で都市封鎖や人流抑制が行われ、感染拡大防止策を講じています。一方、切り札であるワクチン接種に関しては先進国の中では日本が遅れを取り、諸外国との待遇に開きが生じています。

すでに先行して接種している医療従事者への接種率が高まらないと安全な医療提供体制が整いませんので、ワクチン接種がスムーズに進むことを願っています。

**1.全体報告**

令和2年度においては新型コロナウィルス感染症が各事業の影響が出た年であったと思います。多くの会議や研修会は感染拡大防止のため集合型では全て中止となり、パソコン画面を通したリモート会議や研修会が主流となりました。

感染防止にマスク着用や手洗いなど手指衛生の強化、3密を避ける事や感染拡大が懸念される場所や地域を避けるなど心がけました。

年度当初はサージカルマスクも手に入りにくい状況にもなっていましたので購入価格の半額を助成して職員の負担軽減にも対応、また利用者や職員の熱発者が出ると仕事や活動を休んで検査をしていただきましたし、2月からは全職員PCR検査も実施しました。

自然災害に目を転じますと、令和2年7月には熊本県南部地域（八代・芦北・球磨・人吉）を襲った豪雨災害（球磨川氾濫）により多くの命が失われ、家屋も地域も甚大な被害があり、で熊本県内のボランティアと限定された中で復旧活動が行われましたけれども、我が法人からも個人ボランティアとして参加し、福祉避難所運営に職員（8月から10月まで月1人ずつ1泊以上）を派遣し、協会会員の被災施設へ食料物資の支援にも尽力しました。

**2.利用者の状況**

コロナ禍の中でも、継続して仕事ができるよう職員一丸で支援体制を整えて臨みました。

特に今年はウィズコロナ時代を生き抜いていかなければなりませんでしたので感染防止に力を注ぎました。

マスクの着用や手指消毒、対面側面での食事スタイルを変更した机の配置換え、体調管理のための測定器の購入、空気清浄・換気徹底と合わせて不要不急の外出・外泊の抑制などに取り組みました。

そして利用者の仕事がなくならないよう利用者職員一丸となって日々の日中活動支援（就労支援事業）を丁寧に取り組みました。結果として巣ごもり需要も相まり仕事は需要に応えて作業量は維持拡大して工賃支給の向上にも繋がってきておりますが、経済状況にも左右される世界ですので、推移を見ながら今後も努力を重ねたいと思います。

また、利用者の高齢化に伴う体力低下に繋がらないよう足腰の運動強化に取り組みました。雨風がないような天気の日には外で散策や歩行訓練を実施致しましたし、お洒落を楽しむために正装して写真撮影（1月）や、桜の前で写真撮影（3月）も実施しました。また利用者の可能性を見出して生き甲斐をもって生きていくことを目的に創作活動も実践して、作品作りに勤しんでいます。発表する機会は富合町文化祭のみでしたがアフターコロナには多くの作品が陽の目を見るように準備して参りたいと思います。

グループホームの生活においてはコロナ禍でも楽しみを見出して生活できるよう、季節ごとの行事や誕生日会、年祝い行事を実施し、感染が少し収まった時期（10月）には感染防止策を講じながら近場にて徒歩で外出（買い物やテイクアウト）も実施できましたし、家族との連絡に応えるために通常の電話やメールに加えてリモート面会（12月）も導入致しました。

**3.職員の資質向上と福祉サービスの質の評価（熊本県福祉サービス第三者評価）**

利用者は一人一人役割を求めて日々の活動に勤しんでいますので、我々職員がその行動の芽生えを見逃さず可能性を信じて仕事の役割を与えて充実させることこそ、我々の務めであると思っています。

6月と11月の年2回全職員に向けて虐待防止アンケートを実施して日頃の振り返りをしていただき、法人の基本理念や基本方針の確認や自分の強みや活かせる場面、取得したい資格などをアンケート調査して各人の面接を行いました。

また、7月から9月にかけて質の向上を目的に「スキルアップ研修会」を5日間の合計20時間、開催致しました。この研修会は熊本労働局の人材開発助成金をもとに開催して5年目となっており13名がコアメンバーとして参加し、以下のカリキュラムと講師陣で開催しました。

7/16「障害特性に関して問題行動対応」　発達障がい者支援センターみなわ

7/30「感染症予防研修」　　　BLSくまもと　岩永留美氏

8/20「チーム力強化について」　株式会社　ワークライフシナジー研究所　藤原千晶氏

8/27「課題解決と適切な対応について」　中九州短期大学　久保英樹氏

9/10「対人援助職としての心構え」合同会社　能真　福祉相談所グッディワン　戸泉直美氏

　学びを深めて利用者にとって、より良き支援者となるよう邁進していきたいと思います。

グループホーム心陽とサポートライフ心陽において熊本県福祉サービス第三者評価も受審致しました。7月22日にサポートライフ心陽の利用者と職員にアンケート調査、7月29日にグループホーム心陽の利用者と職員にアンケート調査、そして10月29日から11月5日にかけて評価者による訪問調査や聴き取り調査や書類審査などを経て、評価していただきました。

特に評価をしていただいた点はさらに質の維持向上に努め、改善を要する点として中長期計画の策定や組織としての見える化や福祉サービスの魅せる化などに努めることなどを挙げていただきましたので今後はその負託に応えられるように全職員が意識を統一して取り組んで参りたいと思います。

福祉職員としての質を高めていただこうと従来の処遇改善計画と合わせて特定処遇改善計画を実行し、給与額や賞与額の増加や資格取得の半額助成、研修機会の提供などに力を注ぎました。

**＜情報開示＞**

1. 広報誌「しんよう」・・・年1回発行（家族・地域福祉関係へ配付）
2. 法人ホームページで各事業所の取り組み・財務諸表・社会福祉法人現況報告の公開
3. 福祉サービスの情報公表制度、特定処遇改善計画等の情報開示

**＜地域公益活動＞**

**1.既存事業への上乗せ、横出しと実施している取り組み**

1. 計画相談事業以外の事案に対する地域住民や家族等への相談に対応
2. 通所利用者の通院に際し、家族等が通院介助・同伴等ができない場合等に、事業所職員が無料で通院介助や同伴
3. 就労により障害福祉サービスの利用を終了（事業所を退所）した方への生活支援や職場定着に係るフォローアップ等。
4. 当法人で作った米を利用者（ワークセンター・サポートライフ）の昼食、かつ利用者（グループホーム・短期入所）の朝昼夕食を負担軽減の低価格で提供

**2.地域への直接支援及び地域との交流を通した支援**

1. 緊急時や災害時に地域住民に開放
2. 富合町文化祭の参加をはじめ設営や片付けにボランティア参加した
3. 木原区内の区役、農家区役においては事前の清掃活動を実施した
4. 木原区明熊で自主的に行っていた地域清掃活動を評価していただき美化協定を締結
5. 鰐瀬区の美化活動を行い続けて住民との会話も増えた
6. 熊本県社会福祉法人経営者協議会の「熊本DWAT」に参加して県南豪雨災害の被災地である球磨村、あさぎり町、人吉市の福祉避難所に職員派遣、福祉避難所の運営に尽力
7. 熊本県知的障がい者施設協会の加盟施設が県南豪雨で被災され、延べ2日間に渡り、飲料水や食料を中継事業所（八代市）まで届けた

**3.地域の若者や老人、生活困窮者等への支援を通した貢献**

1. 小中学生への交流スペース、作業所の開放や、体験実習、施設見学の受け入れ等
2. コロナ禍でアルバイトが少なくなる大学生を有償ボランティアとして受け入れ
3. 熊本県社会福祉法人経営者協議会の「生計困難者レスキュー事業」に対応（9月に1件）

**4.その他**

⑮日本知的障害者福祉協会の取り組みへの協力

・各種委員会活動、部会活動及び各種実態調査への協力、国へのデータ提供、政策提案

1. 社会福祉の担い手に対する人材育成

・協会が主催する研修やセミナーへの参加（全国・九州大会、熊本県）

1. 熊本県社会福祉法人経営青年会で小規模法人ネットワーク事業に参加して県内の社会福祉法人に呼び掛けて地域貢献事業の冊子化に取り組んだ
2. 熊本県知的障がい者施設協会の熊本市ブロック協会会員事業所へ連絡及び相談、会議の立案と会議の企画など

**理事会**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催年月日 | 出席者数 | 決　議　事　項 |
| 令和2年6月4日 | 理　事　6名監　事　2名 | 第1号議案；令和元年度事業報告について第2号議案；令和元年度決算報告について第3号議案；監事監査報告について第4号議案；令和2年度　補正予算書（案）について第5号議案；令和2年度　評議員会の日時、場所、議題について第6号議案：その他 |
| 令和2年9月29日 | 理　事　6名監　事　2名 | 第1号議案；要配慮者利用施設の避難確保計画について第2号議案；BCP（新型インフルエンザ等）について第3号議案；補助金申請について第4号議案：補正予算（案）について第5号議案：諸規程の変更について第6号議案：その他 |
| 令和2年12月18日 | 理　事　6名監　事　2名 | 第1号議案；諸規程の変更について第2号議案；補正予算（案）について第3号議案；その他 |
| 令和2年3月25日 | 理　事　6名監　事　2名 | 第1号議案；令和3年度　事業計画書（案）について第2号議案；令和3年度　当初予算書（案）について第3号議案；令和2年度　補正予算書（案）について第4号議案；諸規程の変更について第5号議案；その他 |

**評議員会**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催年月日 | 出席者数 | 決　議　事　項 |
| 令和2年6月19日 | 評議員7名監　事　2名理　事　6名（書面議決） | 第1号議案：平成31年度　事業報告書について第2号議案：平成31年度　収支決算書について第3号議案：平成31年度　監事監査報告について第4号議案：平成31年度　社会福祉充実残額について第5号議案：令和2年度　事業計画書（案）について第6号議案：令和2年度　収支予算書（案）について |

**監事監査**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催年月日 | 出席者数 | 監　査　結　果 |
| 令和2年5月28日 | 監事2名紫垣洋伸理事紫垣文枝理事事務局 | 平成31年度事業報告書並びに収支決算書について監査しました結果、適正に表示されていました。 |